

Mother Tree

～人間性英才の森を育む人たち～

日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

【特集】伊勢志摩インターン（6/12～7/11）で得たもの

●参加者（木庭大晴くん、高木玲生くん）のお母さんにインタビューしました！

一ヶ月間のインターン活動に参加したお子さんの変化や成長について、保護者の視点からお聞かせください。

◆木庭かおりさん

変化したと思うのは、
・早起きの習慣↓今はまた戻ってしまいました。
・背が伸びた！徒歩プロジェクトの時も背が伸びて帰ってきましたが、今回もです。
・食器洗いが上手になり、嫌がらずによくやるようになりました。
・一番変わったと思うのは、行動力！思ったら即行動に移すようになっていて、幼なじみが最近不登校になったのを聞いて大晴が彼に連絡したのがきっかけで、今度の「N」キャンプに一緒に行くことになりました。バイトも自分ですぐに決めてきて、1日10時間のバイトでキツイのでは？と思いましたが、本人はあつという間に感じるそうです。「没頭」状態になっているのかもしれないですね。ベンジャミンのおかげです。

インターンに参加させて良かったですか？
ーはい。大晴は何度も長期間のプロジェクトに参加しているのですが、最初（韓国21日間徒歩プロジェクト）は不安もありました。そのときに培われたのは、親の「信じる力」です。大晴に対して、ベンジャミン学校に対して、先生方に対して。不安より信じることを

を選択したこと、直接あるいは間接的に関わってくださる方々の心を感じ、感謝の気持ちが強くなりました。
このお礼は、行動で返さなくちゃと思うようになりました。こういう機会を通して、親の人間性も育ててもらっている気がします。



◆高木桂子さん

玲生がこのインターンに参加したのは、これまで自分の限界を乗り越える時共に支えあって来た真の友、大晴くんがいたからだと思います。「ベンジャミン学校では、ひとりでは乗り越えられないことも応援し支えてくれる皆がいたからできた」と何度か分かち合っていたいきました。

初めは、自分が何をしたいのか分からないと言っていた玲生が、インターンに行くというの自分への挑戦だったと思います。行くと言った時は、甘くみてるんじゃないかな？と思いましたが、そうだったとして、最後までやりきった玲生に拍手を贈ります。

親としては、学校に行っていない管理の難しい子が一ヶ月間規則正しい生活やルールの中で過ごす機会をいただいたことが有り難いですし、本人もよく頑張ったと思います。しんどいこと・やりたくないこともあったでしょうが、それを乗り越え「選択すればなし遂げられる」〇〇の法則を体得できたことで、達成感や自信がついたと思います。

帰宅してお土産がテーブルに置かれていましたが、玲生は何も言いません。2、3日経ってからお土産の下に「父母へ 応援ありがとうございます成長できました。お陰でたくさん成長できました。ありがとうございます。愛しています。」という手紙があるのを見つけた。手を書かせる思いでした。

作業をしている様子、大嫌いな勉強に取り組む姿：週に1度、校長先生が彼らをチェックしてくださり、保護者へ丁寧な報告と写真をいただきました。

徒歩プロジェクトの時もそうでしたが、家に戻れば生活は戻ってしまいます。けれど、そのとき自分が乗り越えられたことを辛いくらいに思い出すことができると思います。

品川校長先生を始め、たくさんの先生方、皆様に愛され育てていただいております。主人共々心より感謝致しております。

品川校長先生からのメッセージ

ベンジャミン生徒達が、貢献の喜びに目覚めて、成長していることに感動を覚えながら、それをさらに継続的に伸ばす道の一つとして、伊勢志摩インターンシップのプログラムを作りました。

参加生徒達は1ヶ月間で、予想を上回る変化・成長を見せてくれました。共通するのは、よい生活習慣のリズムがついて、自分を眺めて受け入れて選択する力がついたこと。体力、筋力がついて、柔軟性も別人のように高まったことです。

2人とも、この生活習慣を「リバウンド」しないように維持したいと話していました。それは、今後の課題として残されました。重要なことは、一般に変えることが難しいとされる生活習慣さえも、いつでも自分が決めればできるという自信と確信を、生徒達が得たこと、そしてそれを通して、自分や周りの人々を信じて感謝する心が育ったことだと感じています。

ベンジャミン学校の生徒達の個性とニーズに合わせて、新しい道を開いていきます。



第2次「伊勢志摩人間性インターンシップ」募集中！

*詳細は、ベンジャミン事務局にお問い合わせください

052-307-1831

